

経済学部トラック制説明会

- 第1回 1月8日(金)12:20～N101
- 第2回 1月8日(金)18:00～N201
- 第3回 1月9日(土)10:30～S206
- 第4回 1月14日(木)12:20～N101
- 第5回 1月14日(木)18:00～N201

教務部

1年次生の皆さんへの依頼事項

1. トラックの選択

必ず、一つのトラックを選択する必要があります。

①地域経済

②国際経済

③金融

④公共

⑤経済教育

※参考(経済学部授業科目履修規程取扱要領)
第3条 経済学部の学生は、2年次から前条に基づきトラックに必ず所属しなければならない。

2. 登録期間

1月8日(金)～1月21日(木)

3. 登録方法

K'sLifeにおいて自分で登録

※留意事項

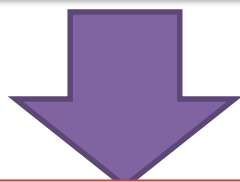
トラック登録をしていない場合、履修ができなくなる可能性があります。

トラック制とは

平成27年度から導入！！

トラック制とは

学生が自分の将来の目標に向かって、授業科目の履修の順序を把握した上で、授業科目を履修し、単位を修得する教育プログラムである。



導入した理由

学生自身が自らの将来の目標に向かって、系統立てて授業科目を履修し、効率的に専門的知識等を身につけるため。

平成27年度の1年次生の皆さんは、2年次生から、5つのトラックの中から、一つだけ自分で選び、選んだトラックに所属することになります。

トラックの種類は5種類

- ①地域経済、②国際経済、
- ③金融、④公共、⑤経済教育

トラック制の種類

地域経済トラック

特徴

福岡や九州地方に本社のある一般企業やNPO法人で働き、地域社会に貢献する人材を育成する

目指す就職先等

JR九州、(株)アステム、(株)アトル、JT九州、ネットヨタ福岡、三好不動産、南国産産、など

国際経済トラック

特徴

グローバル企業や全国展開の企業で活躍するビジネスパーソンを育成する

目指す就職先等

安川電機、博報堂、住友不動産販売、伊藤園、日本通運、第一生命保険、マイナビ、日本新薬、レオパレス21など

金融トラック

特徴

銀行、証券会社、公認会計士、税理士、システムエンジニアなどを目指す人材を育成する

目指す就職先等

福岡銀行、西日本シティ銀行、熊本銀行、佐賀銀行、長崎銀行、三井住友銀行、岡三証券、SMBCフレンド証券など

※参考(経済学部授業科目履修規程取扱要領)

第4条の2

経済教育トラックに登録した者は、教職課程を履修しなければならない。

公共トラック

特徴

市役所、国税専門官、入国管理官、警察官、消防官など、公務員を目指す人材を育成する

目指す就職先等

福岡県庁、福岡市役所、福岡県警察本部、北九州市役所、日本郵政、東京消防庁、鹿児島労働局など

経済教育トラック

特徴

中学校の「社会」、高等学校の「地理歴史」、「公民」、「商業」、の教員免許を取得し、教職に就くことを目指す人材を育成する

目指す就職先等

高等学校教員、中学校教員、私立学校教員、教育関係事務職など

トラック制のイメージ図①

【1年次】

専門基礎科目	教養科目(基礎教育科目)	外国語科目
2年次より始まる5トラックの入門科目及び基礎科目を体系的に学ぶことにより、専門課程にスムーズに移行することができる。	国語、数学、歴史、憲法、政治、スポーツ科学など、広くさまざまな学問を学ぶことにより、社会で生きていく上で必要な教養を身につけることができる。	英語・英語会話を中心に学ぶことにより、英語での日常会話力を身につけることができる。その他、中国語や韓国語など、複数の外国語を学ぶことができる。



以下の5つのトラックの中から、
一つ選ぶ(1年次後期に)

【2年次～4年次】

トラック名				
地域経済	国際経済	金融	公共	経済教育
主に福岡や九州地方に本社のある一般企業やNPO法人で働き、地域社会に貢献する人材を育成する。	グローバル企業や全国展開の企業で活躍するビジネスマンを育成する。	銀行、証券会社、公認会計士、税理士、システムエンジニアなどをを目指す人材を育成する。	市役所、国税専門官、入国管理官、警察官、消防官など、公務員を目指す人材を育成する。	中学校の「社会」、高等学校の「地理歴史」、「公民」、「商業」の教員免許を取得し、教職に就くことを目指す人材を育成する。

トラック制のイメージ図②(履修ガイドP.16)

平成 26 年度まで

卒業・就職

- ・地域の産業界や地方公共団体などで活躍する人材の養成
- ・グローバルな視点を身につけて国内外で活躍する人材の養成

3・4年次

選択必修科目

26 単位

2年次

1年次

系列選択科目

20 単位

- 地方財政論Ⅱ
- 地方行政論Ⅱ
- 社会福祉論Ⅱ
- 九州経済論Ⅱ

- 地方財政論
- 地方行政論
- 社会福祉論
- 九州経済論

- 日本経済史
- 地域経済論
- 経済地理
- 地域開発論
- 中小企業論
- 社会保障論

- △経済学入門
- △経済学(ミクロ経済学)
- △経済学Ⅰ
- △経済学Ⅱ
- △社会思想史Ⅰ
- △社会思想史Ⅱ

選択科目

46 単位

卒業論文ゼミナール
ゼミナールⅡ

- 労働経済学Ⅱ
- 公共経済学Ⅱ
- 国際金融論Ⅱ
- ヨーロッパ経済論Ⅱ
- 中国経済論Ⅱ
- 韓国経済論Ⅱ
- 銀行論Ⅱ
- 環境経済学Ⅱ
- 租税論Ⅱ
- 経済変動論Ⅱ
- 農業経済論Ⅱ
- 経済法Ⅱ
- 労働法Ⅱ
- 国際法Ⅱ
- 情報メディア論Ⅱ

ゼミナールⅠ

- 国際金融論
- ヨーロッパ経済論
- 中国経済論
- 韓国経済論
- 銀行論
- 環境経済学
- 労働経済学
- 租税論
- 経済変動論
- 農業経済論
- 公共経済学
- 国際法
- 経済法
- 労働法

プレゼミナール

- 西洋経済史
- マクロ経済学
- 開発経済学
- 貿易論
- アジア経済論
- 国際経済学
- アメリカ経済論
- 政治学
- 行政学
- 商法
- 行政法

- 経済数学入門Ⅰ
- 経済数学入門Ⅱ
- 初級簿記Ⅰ
- 初級簿記Ⅱ
- 経営学Ⅰ
- 憲法Ⅰ
- 憲法Ⅱ
- 情報処理入門
- 民法Ⅰ
- 民法Ⅱ
- 基礎ゼミナールⅠ
- 基礎ゼミナールⅡ

入学

学生は卒業要件だけを見て自由に授業を選ぶ

平成 27 年度から

卒業・就職

5つのトラック

地域経済

主に福岡や九州地方に本社のある一般企業やNPO法人で働き、地域社会に貢献する人材を育成する。

国際経済

グローバル企業や全展開の企業で活躍するビジネスマンを育成する。

金融

銀行、証券会社、公認会計士、税理士、システムエンジニアなどをめざす人材を育成する。

公共

市役所、国・県・市町村、入国管理官、警察官、消防官など、公務員をめざす人材を育成する。

経済教育

高等学校の「社会」、史、「公民」、「商業」の教員免許を取得し、教職に就くことをめざす人材を育成する。

- 例：ゼミナールⅡ
- 卒業論文ゼミナール
- 環境経済学
- 地方財政論
- 九州経済論
- 地域開発論

- 例：ゼミナールⅠ
- 社会福祉論
- 地方行政論
- 経済地理
- 経済変動論

- 例：日本経済史
- 地域経済論
- 中小企業論
- 社会保障論
- 実践企画演習Ⅱ

- 例：ゼミナールⅡ
- 卒業論文ゼミナール
- ヨーロッパ経済論
- 中国経済論
- 韓国経済論
- 経済思想史

- 例：ゼミナールⅠ
- アジア経済論
- アジア経済論
- 農業経済論
- 国際金融論

- 例：国際経済学
- 貿易論
- 開発経済学
- 海外研修
- 西洋経済史

- 例：ゼミナールⅡ
- 卒業論文ゼミナール
- 国際金融論
- 情報処理論
- 租税論
- 原価計算論

- 例：ゼミナールⅠ
- 商法
- 銀行論
- ファイナンシャルプランナー
- 証券外務員取得

- 例：貿易論
- 経済数学
- 国際金融論
- 商業簿記
- 工業簿記

- 例：ゼミナールⅡ
- 卒業論文ゼミナール
- 社会保障論
- 地方財政論
- 計量経済学
- 刑法

- 例：ゼミナールⅠ
- 行政法
- 地方行政論
- 公共経済学
- 労働法

- 例：ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 政治経済学
- 政治学

- 例：ゼミナールⅡ
- 卒業論文ゼミナール
- 環境経済学
- 会計学原理
- 労働法
- 職業指導

- 例：ゼミナールⅠ
- 法学概論
- 労働経済学
- 国際法
- 倫理学概論

- 例：経済地理
- 日本経済史
- 商法
- 国際経済学
- 情報処理論

選択必修科目

26 単位

- △ミクロ経済学入門
- △マクロ経済学入門
- △現代の経済学入門
- △経済学Ⅰ
- △経済学Ⅱ
- △社会思想史Ⅰ
- △社会思想史Ⅱ
- △統計学Ⅰ
- △統計学Ⅱ
- △経済数学入門Ⅰ
- △経済数学入門Ⅱ
- △経済数学入門Ⅲ
- △経済政策Ⅰ
- △経済政策Ⅱ
- △金融論Ⅰ
- △金融論Ⅱ
- △財政学Ⅰ
- △財政学Ⅱ
- △社会政策Ⅰ
- △社会政策Ⅱ
- △経済学Ⅰ
- △経済学Ⅱ
- △国民所得論Ⅰ
- △国民所得論Ⅱ

入門的な科目

- 基礎ゼミナールⅠ
- 基礎ゼミナールⅡ
- 初級簿記Ⅰ
- 初級簿記Ⅱ
- 経営学Ⅰ
- 経営学Ⅱ
- 憲法Ⅰ
- 憲法Ⅱ
- 民法Ⅰ
- 民法Ⅱ
- 情報処理入門
- 情報処理演習
- キャリア基礎学Ⅰ
- キャリア基礎学Ⅱ

入学

学生は将来の目標(就職)を見据えて授業を選ぶ

2年次以降の選択科目について履修モデルを明示することによって、将来の目標への道標となります。

トラック制のイメージ図②

A3の別添資料をご覧ください。

★トラック制とは

学生が自分の将来の目標に向かって、授業科目の履修の順序を把握した上で、授業科目を履修し、単位を修得する教育プログラムです(平成27年度入学生より導入)。トラック所属後(2年次以降)は、トラックの内容を踏まえて、下の各トラック推奨科目一覧表で履修モデルを確認し、授業科目を履修してください。このトラックに基づく履修モデルに基づき、授業科目を履修することで、将来の目標に向かって体系的かつ効率的に専門的知識等を身につけることができます。

平成27年度入学生用(15EE) トラック推奨科目一覧表

	地域経済トラック	国際経済トラック	金融トラック	公共トラック	経済教育トラック	
トラックの特徴	福岡や九州地方に本社のある一般企業やNPO法人で働き、地域社会に貢献する人材を育成する	グローバル企業や全国展開の企業で活躍するビジネスパーソンを育成する	銀行、証券会社、公認会計士、税理士、システムエンジニアなどを指す人材を育成する	市役所、国税専門官、入国管理官、警察官、消防官など、公務員を目指す人材を育成する	中学校の「社会」、高等学校の「地理歴史」、「公民」、「商業」、の教員免許を取得し、教職に就くことを目指す人材を育成する	卒業要件
就目標先	JR九州、(株)アステム、(株)アトル、JTB九州、ネットヨタ福岡、三好不動産、南国殖産、など	安川電機、博報堂、住友不動産販売、伊藤園、日本通運、第一生命保険、マイナビ、日本新薬、レオパレス21など	福岡銀行、西日本シティ銀行、熊本銀行、佐賀銀行、長崎銀行、三井住友銀行、岡三証券、SMBCフレンド証券など	福岡県庁、福岡市役所、福岡県警察本部、北九州市役所、日本郵政、東京消防庁、鹿児島労働局など	高等学校教員、中学校教員、私立学校教員、教育関係事務職など	
共通科目(選択必修科目)	年次 科目	年次 科目	年次 科目	年次 科目	年次 科目	26単位
	1 ミクロ経済学入門	1 ミクロ経済学入門	1 ミクロ経済学入門	1 ミクロ経済学入門	1 ミクロ経済学入門	
	1 マクロ経済学入門	1 マクロ経済学入門	1 マクロ経済学入門	1 マクロ経済学入門	1 マクロ経済学入門	
	1 現代の経済学入門	1 現代の経済学入門	1 現代の経済学入門	1 現代の経済学入門	1 現代の経済学入門	
	1 経済史Ⅰ	1 経済史Ⅰ	1 経済史Ⅰ	1 経済史Ⅰ	1 経済史Ⅰ	
	1 経済史Ⅱ	1 経済史Ⅱ	1 経済史Ⅱ	1 経済史Ⅱ	1 経済史Ⅱ	
		1 社会思想史Ⅰ		1 社会思想史Ⅰ	1 社会思想史Ⅰ	
		1 社会思想史Ⅱ		1 社会思想史Ⅱ	1 社会思想史Ⅱ	
	1 統計学Ⅰ	1 統計学Ⅰ	1 統計学Ⅰ	1 統計学Ⅰ	1 統計学Ⅰ	
	1 統計学Ⅱ	1 統計学Ⅱ	1 統計学Ⅱ	1 統計学Ⅱ	1 統計学Ⅱ	
	1 経済数学入門Ⅰ	1 経済数学入門Ⅰ	1 経済数学入門Ⅰ	1 経済数学入門Ⅰ	1 経済数学入門Ⅰ	
		1 経済数学入門Ⅱ				
			1 経済数学入門Ⅲ			
	2 経済政策Ⅰ	2 経済政策Ⅰ	2 経済政策Ⅰ	2 経済政策Ⅰ		
	2 経済政策Ⅱ	2 経済政策Ⅱ	2 経済政策Ⅱ	2 経済政策Ⅱ		
			2 金融論Ⅰ	2 金融論Ⅰ	2 金融論Ⅰ	
			2 金融論Ⅱ	2 金融論Ⅱ	2 金融論Ⅱ	
	2 財政学Ⅰ		2 財政学Ⅰ	2 財政学Ⅰ	2 財政学Ⅰ	
	2 財政学Ⅱ		2 財政学Ⅱ	2 財政学Ⅱ	2 財政学Ⅱ	
	2 社会政策Ⅰ		2 社会政策Ⅰ	2 社会政策Ⅰ		
	2 社会政策Ⅱ		2 社会政策Ⅱ	2 社会政策Ⅱ		
		2 経済学史Ⅰ		2 経済学史Ⅰ	2 経済学史Ⅰ	
		2 経済学史Ⅱ		2 経済学史Ⅱ	2 経済学史Ⅱ	
		2 国民所得論Ⅰ		2 国民所得論Ⅰ	2 国民所得論Ⅰ	
		2 国民所得論Ⅱ		2 国民所得論Ⅱ	2 国民所得論Ⅱ	
	1 基礎ゼミナールⅠ	1 基礎ゼミナールⅠ	1 基礎ゼミナールⅠ	1 基礎ゼミナールⅠ	1 基礎ゼミナールⅠ	
	1 基礎ゼミナールⅡ	1 基礎ゼミナールⅡ	1 基礎ゼミナールⅡ	1 基礎ゼミナールⅡ	1 基礎ゼミナールⅡ	
	2 プレゼミナール	2 プレゼミナール	2 プレゼミナール	2 プレゼミナール	2 プレゼミナール	
	3 ゼミナールⅠ	3 ゼミナールⅠ	3 ゼミナールⅠ	3 ゼミナールⅠ	3 ゼミナールⅠ	
	4 ゼミナールⅡ	4 ゼミナールⅡ	4 ゼミナールⅡ	4 ゼミナールⅡ	4 ゼミナールⅡ	
	4 卒業論文ゼミナール	4 卒業論文ゼミナール	4 卒業論文ゼミナール	4 卒業論文ゼミナール	4 卒業論文ゼミナール	
	1 初級簿記Ⅰ		1 初級簿記Ⅰ		1 初級簿記Ⅰ	
	1 初級簿記Ⅱ		1 初級簿記Ⅱ		1 初級簿記Ⅱ	
	1 経営学Ⅰ		1 経営学Ⅰ	1 経営学Ⅰ	1 経営学Ⅰ	

トラック制の推奨科目

自分自身の目標

	地域経済	国際経済	金融	公共	経済教育
4年	環境経済学 地方財政論 九州経済論	ヨーロッパ経済論 中国経済論 韓国経済論	国際金融論 情報処理論 租税論	社会保障論 地方財政論 計量経済学	環境経済学 会計学原理 労働法
3年	社会福祉論 地方行政論 経済地理	アジア経済論 アメリカ経済論 農業経済論	商法 銀行論 ビジネス演習	行政法 地方行政論 公共経済学	法学概論 労働経済学 国際法
2年	日本経済史 地域経済論 中小企業論	国際経済学 貿易論 開発経済学	貿易論 経済数学 国際金融論	ミクロ経済学 マクロ経済学 政治経済学	経済地理 日本経済史 商法
1年	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 現代の経済学入門 経済数学入門 経済史 統計学				

2年次では、登録したトラックの配当科目を中心に学ぶことになります。
授業科目によっては、自動的に登録されることになります。

区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)
経済学専攻	△ミクロ経済学入門 (2)	△経済政策Ⅰ (2)		
	△マクロ経済学入門 (2)	△経済政策Ⅱ (2)		
	△現代の経済学入門 (2)	△金融論Ⅰ (2)		
	△経済史Ⅰ (2)	△金融論Ⅱ (2)		
	△経済史Ⅱ (2)	△財政学Ⅰ (2)		
	△社会思想Ⅰ (2)	△財政学Ⅱ (2)		
	△社会思想Ⅱ (2)	△社会政策Ⅰ (2)		
	△統計学Ⅰ (2)	△社会政策Ⅱ (2)		
	△統計学Ⅱ (2)	△経済学史Ⅰ (2)		
	△経済数学入門Ⅰ (2)	△経済学史Ⅱ (2)		
	△経済数学入門Ⅱ (2)	△国民所得論Ⅰ (2)		
	△経済数学入門Ⅲ (2)	△国民所得論Ⅱ (2)		
		日本経済史Ⅰ (2)	地方財政論Ⅰ (2)	地方財政論Ⅱ (2)
		日本経済史Ⅱ (2)	地方行政論Ⅰ (2)	地方行政論Ⅱ (2)
		地域経済論Ⅰ (2)	社会福祉論Ⅰ (2)	社会福祉論Ⅱ (2)
		地域経済論Ⅱ (2)	九州経済論Ⅰ (2)	九州経済論Ⅱ (2)
		経済地理Ⅰ (2)		
		経済地理Ⅱ (2)		
		地域開発論Ⅰ (2)		
		地域開発論Ⅱ (2)		
		中小企業論Ⅰ (2)		
経済学専攻		中小企業論Ⅱ (2)		
		社会保障論Ⅰ (2)		
		社会保障論Ⅱ (2)		
		国際経済学Ⅰ (2)	国際金融論Ⅰ (2)	国際金融論Ⅱ (2)
		国際経済学Ⅱ (2)	ヨーロッパ経済論Ⅰ (2)	ヨーロッパ経済論Ⅱ (2)
		西洋経済史Ⅰ (2)	中国経済論Ⅰ (2)	中国経済論Ⅱ (2)
		西洋経済史Ⅱ (2)	韓国経済論Ⅰ (2)	韓国経済論Ⅱ (2)
		開発経済学Ⅰ (2)		
		開発経済学Ⅱ (2)		
		貿易論Ⅰ (2)		
		貿易論Ⅱ (2)		
		アジア経済論Ⅰ (2)		
		アジア経済論Ⅱ (2)		
		アメリカ経済論Ⅰ (2)		
		アメリカ経済論Ⅱ (2)		
		産業概説Ⅰ (2)	経済思想史Ⅰ (2)	経済思想史Ⅱ (2)
		産業概説Ⅱ (2)	産業組織論Ⅰ (2)	産業組織論Ⅱ (2)
		日本経済論Ⅰ (2)	銀行論Ⅰ (2)	銀行論Ⅱ (2)
		日本経済論Ⅱ (2)	環境経済学Ⅰ (2)	環境経済学Ⅱ (2)
		ミクロ経済学 (2)	労働経済学Ⅰ (2)	労働経済学Ⅱ (2)
経済学専攻		マクロ経済学 (2)	租税論Ⅰ (2)	租税論Ⅱ (2)
		経済学入門Ⅰ (2)	経済変動論Ⅰ (2)	経済変動論Ⅱ (2)
		経済学入門Ⅱ (2)	農業経済論Ⅰ (2)	農業経済論Ⅱ (2)
		政治経済学Ⅰ (2)	公共経済学Ⅰ (2)	公共経済学Ⅱ (2)
		政治経済学Ⅱ (2)	計量経済学Ⅰ (2)	計量経済学Ⅱ (2)
		経済数学Ⅰ (2)	情報経済学Ⅰ (2)	情報経済学Ⅱ (2)
		経済数学Ⅱ (2)	数理経済学Ⅰ (2)	数理経済学Ⅱ (2)
			進化経済学 (2)	社会経済学 (2)
			現代資本主義論 (2)	
		初級簿記Ⅰ (2)	商業簿記Ⅰ (2)	会計学原理Ⅰ (2)
		初級簿記Ⅱ (2)	商業簿記Ⅱ (2)	原価計算論Ⅰ (2)
		経営学Ⅰ (2)	工業簿記Ⅰ (2)	経営管理論Ⅰ (2)
		経営学Ⅱ (2)	工業簿記Ⅱ (2)	経営管理論Ⅱ (2)
			マーケティング論Ⅰ (2)	
			マーケティング論Ⅱ (2)	
		憲法Ⅰ (2)	商法Ⅰ (2)	経済法Ⅰ (2)
		憲法Ⅱ (2)	商法Ⅱ (2)	経済法Ⅱ (2)
		民法Ⅰ (2)	行政法Ⅰ (2)	労働法Ⅰ (2)
		民法Ⅱ (2)	行政法Ⅱ (2)	労働法Ⅱ (2)
			政治学 (2)	国際法Ⅰ (2)
			行政学 (2)	国際法Ⅱ (2)
経済学専攻		情報処理入門 (2)	情報処理論Ⅰ (2)	情報メディア論Ⅰ (2)
		情報処理演習 (文書作成) (2)	情報処理論Ⅱ (2)	情報メディア論Ⅱ (2)
		情報処理演習 (表計算) (2)	情報処理演習 (プレゼンテーション) (2)	
			情報処理演習 (ホームページ作成) (2)	
		実践企業演習Ⅰ (4)	実践企業演習Ⅱ (4)	実践企業演習Ⅲ (4)
		海外研修 (事前学習) (2)	海外研修 (現地学習Ⅰ) (2)	海外研修 (事後学習) (2)
		海外留学Ⅰ (2)	海外留学Ⅱ (2)	経済実習調査Ⅰ (2)
				経済実習調査Ⅱ (2)
		インターンシップ (2)		
		キャリア基礎学習Ⅰ (2)	SPI基礎 (2)	ビジネス演習Ⅰ (証券外務員取得) (2)
		キャリア基礎学習Ⅱ (2)	SPI演習 (2)	ビジネス英語Ⅲ (2)
		キャリア特講Ⅰ (2)	キャリア演習 (教職) (2)	外国史Ⅰ (4)
		キャリア特講Ⅱ (2)	キャリア演習 (金融機関) (2)	日本史Ⅰ (4)
		キャリア特講Ⅲ (2)	キャリア演習 (公務員) (2)	職業指導 (2)
		自然地理学 (4)	ビジネス英語Ⅱ (2)	
		人文地理学 (4)	地誌学 (4)	
			法学概論 (4)	
			哲学 (4)	
			心理学 (4)	
		外書講義Ⅰ (2)	外書講義Ⅱ (2)	外書講義Ⅲ (2)
		特殊講義Ⅰ (2)	特殊講義Ⅲ (2)	特殊講義Ⅳ (2)
		特殊講義Ⅴ (2)	特殊講義Ⅵ (2)	特殊講義Ⅶ (2)
		特殊講義Ⅷ (2)	特殊講義Ⅷ (2)	特殊講義Ⅷ (2)
経済学専攻		基礎ゼミナールⅠ (2)	プレゼミナール (4)	ゼミナールⅡ (4)
		基礎ゼミナールⅡ (2)	ゼミナールⅠ (4)	卒業論文ゼミナール (8)

経済学部 卒業要件

卒業までに定められた科目区分の単位数を修得します。
4年間で最低124単位以上修得しなければなりません。
1年間に履修できる単位の上限は48単位です。

経済学部 経済学科 卒業要件

授業科目区分	授業科目及び単位数	
専門科目	選択必修科目	26単位
	選択科目	54単位
基礎教育科目		12単位
外国語科目	二言語12単位 (英語8単位以上)	
合 計		124単位

さらに
専門科目、基礎
教育科目及び
外国語科目から
20単位

※専門科目は『**選択必修科目**』と
『**選択科目**』を合わせて最低**80単位以上**の
修得が必要です。

『**選択必修科目**』を30単位修得した場合、
残りの4単位は、**選択科目**の卒業要件単
位になります。

『**選択科目**』を60単位修得した場合、**残
りの6単位は「さらに～」の卒業要件単位
になります。**

経済学部 卒業要件について

例：『選択必修科目を30単位修得した場合』

選択必修科目の修得単位30単位 － 卒業要件26単位 ＝ 4単位

上記の4単位は専門科目の選択科目の卒業要件単位として算入される。

例：『選択必修科目を30単位、選択科目を60単位修得した場合』

選択必修科目の修得単位30単位 － 卒業要件26単位 ＝ 4単位

選択科目の修得単位60単位 － 卒業要件54単位 ＝ 6単位

上記の4単位と6単位は「さらに専門科目、基礎教育科目及び外国語科目から20単位」の必要単位として算入される。

トラック登録の方法について



1. K'sLifeトップページの「アンケート」をクリック



トラック登録の方法について

2. 「経済学部1年次生(15EE)トラック制登録について」をクリック

SYSTEM SECOND

ホーム スケジュール 連絡通知 課外活動 講義室変更 補講 施設予約 機能連携 教務(履修・成績等) 学生支援 リンク 小テスト アンケート レポート 授業カードダウンロード 出欠管理 出

アンケートメニュー

共通アンケート一覧

タイトル	提出状況	
経済学部 1年次生(15EE)トラック制登録について	未提出	2015/12/07 【 00:00 】
	提出済み - 2015/12/04 【 19:11 】	2015/12/04 【 00:00 】
	未提出	2015/12/04 【 00:00 】
	提出済み - 2015/12/03 【 14:58 】	2015/12/03 【 00:00 】

トラック登録の方法について

3. 希望するトラックを選択して、「提出する」をクリック

ホーム > 共通アンケートメニュー > 共通アンケート回答

アンケート ▶ 共通アンケート回答

未提出

提出有効期限 2015/12/07 00:00 - 2016/01/12 00:00

※必須入力項目には、項目名の右側に※が表示されています。

アンケート回答

トラック制とは、学生自身が将来の目標に向かって、授業科目の履修の順序を把握した上で、単位を修得する教育プログラムです(平成27年度入学制より導入)。

参考資料

トラック制の説明について.pptx

トラック推奨科目一覧表.pdf

希望するトラックを選択してください ※

5つのトラックから、所属を希望するトラックを選択してください。

受付期間: 12月10日(木)~1月12日(火)

☐ 地域経済トラック

☐ 国際経済トラック

☐ 金融トラック

☐ 公共トラック

☐ 経済教育トラック

提出する

自分のトラックを確認するには？

3月26日(土)の新2年ガイダンス時に教務課の
掲示板で公開します。必ず確認してください。

成績原簿は、左上の学部学科を記載しているところに
各トラック名が記載されます。

九州産業大学				成 績 原 簿			
経済学部	経済学科	昼間主コース	国際経済トラック				
学籍番号	15EEI	1年次生					
氏名	テスト学生	平成12年 1月 1日生		クラス担任(指導)			
科目名	単位	評価	年度	科目名	単位	評価	年度
《選択必修科目(選択必修)》							
△社会思想史Ⅰ	2	A	15				
△社会思想史Ⅱ	2	☆	15				
△統計学Ⅰ	2	S	15				
△統計学Ⅱ	2	☆	15				
△経済史Ⅰ	2	B	15				

トラックを選んだ後

トラック所属後（2年次以降）は、トラックの内容を踏まえて、自分で履修ガイドに記載の履修モデル、もしくは本日配布した資料を確認し、授業科目を履修してください。

このトラックの履修モデルに基づき、授業科目を履修することで、将来の目標に向かって体系的かつ効率的に専門的知識等を身につけることができます。

自分の将来は、自分で切り拓くこと！！
この制度を活かすのも活かさないのも自分次第です。

★トラック制とは

学生が自分の将来の目標に向かって、授業科目の履修の順序を把握した上で、授業科目を履修し、単位を修得する教育プログラムです(平成27年度入学生より導入)。
トラック所属後(2年次以降)は、トラックの内容を踏まえて、下の各トラック推奨科目一覧表で履修モデルを確認し、授業科目を履修してください。このトラックに基づく履修モデルに基づき、授業科目を履修することで、将来の目標に向かって体系的かつ効率的に専門的知識等を身につけることができます。

平成27年度入学生用(15EE) トラック推奨科目一覧表

地域経済トラック		国際経済トラック		金融トラック		公共トラック		経済教育トラック		卒業要件	
トラックの特徴	福岡や九州地方に本社のある一般企業やNPO法人で働き、地域社会に貢献する人材を育成する	国際経済トラック	グローバル企業や全国展開の企業で活躍するビジネスパーソンを育成する	金融トラック	銀行、証券会社、公認会計士、税理士、システムエンジニアなどをを目指す人材を育成する	公共トラック	市役所、国税専門官、入国管理官、警察官、消防官など、公務員を目指す人材を育成する	経済教育トラック	中学校の「社会」、高等学校の「地理歴史」、「公民」、「商業」の教員免許を取得し、教職に就くことを目指す人材を育成する		
就目職指先	JR九州、(株)アステム、(株)アトル、JTB九州、ネットヨタ福岡、三好不動産、南国殖産、など	安川電機、博報堂、住友不動産販売、伊藤園、日本通運、第一生命保険、マイナビ、日本新薬、レオパレス21など	福岡銀行、西日本シティ銀行、熊本銀行、佐賀銀行、長崎銀行、三井住友銀行、岡三証券、SMBCフレンド証券など	福岡県庁、福岡市役所、福岡県警察本部、北九州市役所、日本郵政、東京消防庁、鹿児島労働局など	高等学校教員、中学校教員、私立学校教員、教育関係事務職など						
共通科目 (選択必修科目)	年次	科 目	年次	科 目	年次	科 目	年次	科 目	年次	科 目	26 単位
	1	ミクロ経済学入門	1	ミクロ経済学入門	1	ミクロ経済学入門	1	ミクロ経済学入門	1	ミクロ経済学入門	
	1	マクロ経済学入門	1	マクロ経済学入門	1	マクロ経済学入門	1	マクロ経済学入門	1	マクロ経済学入門	
	1	現代の経済学入門	1	現代の経済学入門	1	現代の経済学入門	1	現代の経済学入門	1	現代の経済学入門	
	1	経済史Ⅰ	1	経済史Ⅰ	1	経済史Ⅰ	1	経済史Ⅰ	1	経済史Ⅰ	
	1	経済史Ⅱ	1	経済史Ⅱ	1	経済史Ⅱ	1	経済史Ⅱ	1	経済史Ⅱ	
			1	社会思想史Ⅰ			1	社会思想史Ⅰ	1	社会思想史Ⅰ	
			1	社会思想史Ⅱ			1	社会思想史Ⅱ	1	社会思想史Ⅱ	
	1	統計学Ⅰ	1	統計学Ⅰ	1	統計学Ⅰ	1	統計学Ⅰ	1	統計学Ⅰ	
	1	統計学Ⅱ	1	統計学Ⅱ	1	統計学Ⅱ	1	統計学Ⅱ	1	統計学Ⅱ	
	1	経済数学入門Ⅰ	1	経済数学入門Ⅰ	1	経済数学入門Ⅰ	1	経済数学入門Ⅰ	1	経済数学入門Ⅰ	
			1	経済数学入門Ⅱ							
					1	経済数学入門Ⅲ					
	2	経済政策Ⅰ	2	経済政策Ⅰ	2	経済政策Ⅰ	2	経済政策Ⅰ			
	2	経済政策Ⅱ	2	経済政策Ⅱ	2	経済政策Ⅱ	2	経済政策Ⅱ			
					2	金融論Ⅰ			2	金融論Ⅰ	
					2	金融論Ⅱ			2	金融論Ⅱ	
	2	財政学Ⅰ			2	財政学Ⅰ	2	財政学Ⅰ	2	財政学Ⅰ	
	2	財政学Ⅱ			2	財政学Ⅱ	2	財政学Ⅱ	2	財政学Ⅱ	
	2	社会政策Ⅰ					2	社会政策Ⅰ			
	2	社会政策Ⅱ					2	社会政策Ⅱ			
			2	経済学史Ⅰ			2	経済学史Ⅰ	2	経済学史Ⅰ	
			2	経済学史Ⅱ			2	経済学史Ⅱ	2	経済学史Ⅱ	
			2	国民所得論Ⅰ			2	国民所得論Ⅰ	2	国民所得論Ⅰ	
			2	国民所得論Ⅱ			2	国民所得論Ⅱ	2	国民所得論Ⅱ	
選 択 科 目	1	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅠ	54 単位
	1	基礎ゼミナールⅡ	1	基礎ゼミナールⅡ	1	基礎ゼミナールⅡ	1	基礎ゼミナールⅡ	1	基礎ゼミナールⅡ	
	2	プレゼミナール	2	プレゼミナール	2	プレゼミナール	2	プレゼミナール	2	プレゼミナール	
	3	ゼミナールⅠ	3	ゼミナールⅠ	3	ゼミナールⅠ	3	ゼミナールⅠ	3	ゼミナールⅠ	
	4	ゼミナールⅡ	4	ゼミナールⅡ	4	ゼミナールⅡ	4	ゼミナールⅡ	4	ゼミナールⅡ	
	4	卒業論文ゼミナール	4	卒業論文ゼミナール	4	卒業論文ゼミナール	4	卒業論文ゼミナール	4	卒業論文ゼミナール	
	1	初級簿記Ⅰ			1	初級簿記Ⅰ			1	初級簿記Ⅰ	
	1	初級簿記Ⅱ			1	初級簿記Ⅱ			1	初級簿記Ⅱ	
	1	経営学Ⅰ			1	経営学Ⅰ	1	経営学Ⅰ	1	経営学Ⅰ	
	1	経営学Ⅱ			1	経営学Ⅱ	1	経営学Ⅱ	1	経営学Ⅱ	
							1	憲法Ⅰ	1	憲法Ⅰ	
							1	憲法Ⅱ	1	憲法Ⅱ	
	1	民法Ⅰ			1	民法Ⅰ	1	民法Ⅰ	1	民法Ⅰ	
	1	民法Ⅱ			1	民法Ⅱ	1	民法Ⅱ	1	民法Ⅱ	
	1	情報処理入門	1	情報処理入門	1	情報処理入門			1	情報処理入門	
					1	情報処理演習(文書作成)					
					1	情報処理演習(表計算)			1	情報処理演習(表計算)	
	1	実践企画演習Ⅰ	1	実践企画演習Ⅰ	1	実践企画演習Ⅰ					
			1	海外研修(事前学習)							
			1	海外研修(現地学習Ⅰ)							
			1	海外研修(現地学習Ⅱ)							
			1	海外研修(事後学習)							
			1	海外留学Ⅰ							
			1	海外留学Ⅱ							
	1	経済実態調査Ⅰ									
	1	経済実態調査Ⅱ									
	1	インターンシップ									
	1	キャリア基礎学修Ⅰ	1	キャリア基礎学修Ⅰ	1	キャリア基礎学修Ⅰ	1	キャリア基礎学修Ⅰ	1	キャリア基礎学修Ⅰ	
	1	キャリア基礎学修Ⅱ	1	キャリア基礎学修Ⅱ	1	キャリア基礎学修Ⅱ	1	キャリア基礎学修Ⅱ	1	キャリア基礎学修Ⅱ	
							1	キャリア特講Ⅰ	1	キャリア特講Ⅰ	
							1	キャリア特講Ⅱ	1	キャリア特講Ⅱ	
							1	キャリア特講Ⅲ	1	キャリア特講Ⅲ	
							1	自然地理学	1	自然地理学	
							1	人文地理学	1	人文地理学	
			1	外書講読Ⅰ							
			1	外書講読Ⅱ							
			1	外書講読Ⅲ							
			1	外書講読Ⅳ							
			1	特殊講義Ⅶ(国際関係論)			1	特殊講義Ⅶ(国際関係論)	1	特殊講義Ⅶ(国際関係論)	
	2	日本経済史Ⅰ					2	日本経済史Ⅰ	2	日本経済史Ⅰ	
	2	日本経済史Ⅱ					2	日本経済史Ⅱ	2	日本経済史Ⅱ	
	2	地域経済論Ⅰ							2	地域経済論Ⅰ	
	2	地域経済論Ⅱ							2	地域経済論Ⅱ	
	2	経済地理Ⅰ							2	経済地理Ⅰ	
	2	経済地理Ⅱ							2	経済地理Ⅱ	
	2	地域開発論Ⅰ							2	地域開発論Ⅰ	
	2	地域開発論Ⅱ							2	地域開発論Ⅱ	
	2	中小企業論Ⅰ									
	2	中小企業論Ⅱ									
	2	社会保障論Ⅰ					2	社会保障論Ⅰ	2	社会保障論Ⅰ	
	2	社会保障論Ⅱ					2	社会保障論Ⅱ	2	社会保障論Ⅱ	
			2	国際経済学Ⅰ					2	国際経済学Ⅰ	
			2	国際経済学Ⅱ					2	国際経済学Ⅱ	
			2	西洋経済史Ⅰ			2	西洋経済史Ⅰ	2	西洋経済史Ⅰ	
		2	西洋経済史Ⅱ			2	西洋経済史Ⅱ	2	西洋経済史Ⅱ		
		2	開発経済学Ⅰ								
		2	開発経済学Ⅱ								
		2	貿易論Ⅰ	2	貿易論Ⅰ	2	貿易論Ⅰ	2	貿易論Ⅰ		
		2	貿易論Ⅱ	2	貿易論Ⅱ	2	貿易論Ⅱ	2	貿易論Ⅱ		
		2	アジア経済論Ⅰ								
		2	アジア経済論Ⅱ								
		2	アメリカ経済論Ⅰ								
		2	アメリカ経済論Ⅱ								
2	産業概説Ⅰ										
2	産業概説Ⅱ										
2	日本経済論Ⅰ										
2	日本経済論Ⅱ										
						2	ミクロ経済学				
						2	マクロ経済学				
						2	経済原論Ⅰ				
						2	経済原論Ⅱ				
						2	政治経済学Ⅰ	2	政治経済学Ⅰ		
						2	政治経済学Ⅱ	2	政治経済学Ⅱ		
				2	経済数学Ⅰ						
				2	経済数学Ⅱ						
				2	商業簿記Ⅰ			2	商業簿記Ⅰ		
				2	商業簿記Ⅱ			2	商業簿記Ⅱ		
				2	工業簿記Ⅰ			2	工業簿記Ⅰ		
				2	工業簿記Ⅱ			2	工業簿記Ⅱ		
2	マーケティング論Ⅰ			2	マーケティング論Ⅰ	2	マーケティング論Ⅰ	2	マーケティング論Ⅰ		
2	マーケティング論Ⅱ			2	マーケティング論Ⅱ	2	マーケティング論Ⅱ	2	マーケティング論Ⅱ		
2	商法Ⅰ			2	商法Ⅰ			2	商法Ⅰ		
2	商法Ⅱ			2	商法Ⅱ			2	商法Ⅱ		
						2	行政法Ⅰ	2	行政法Ⅰ		
						2	行政法Ⅱ	2	行政法Ⅱ		
						2	政治学	2	政治学		
						2	行政学	2	行政学		
				2	情報処理論Ⅰ			2	情報処理論Ⅰ		
				2	情報処理論Ⅱ			2	情報処理論Ⅱ		
				2	情報処理演習(プレゼンテーション)			2	情報処理演習(プレゼンテーション)		
				2	情報処理演習(ホームページ作成)						
2	実践企画演習Ⅱ	2	実践企画演習Ⅱ	2	実践企画演習Ⅱ						
2	SPI基礎	2	SPI基礎	2	SPI基礎	2	SPI基礎				
2	SPI演習	2	SPI演習	2	SPI演習	2	SPI演習				

裏面に続く

裏面に続く

平成27年度入学生用(15EE) トラック推奨科目一覧表

地域経済トラック		国際経済トラック		金融トラック		公共トラック		経済教育トラック	
選 択 科 目				2	キャリア演習(金融機関)			2	キャリア演習(教職)
						2	キャリア演習(公務員)		
		2	ビジネス英語Ⅰ						
		2	ビジネス英語Ⅱ						
						2	地誌学	2	地誌学
								2	法学概論
								2	哲学
								2	心理学
				2	特殊講義Ⅰ(証券特論)	2	特殊講義Ⅰ(証券特論)		
	3	実践企画演習Ⅲ	3	実践企画演習Ⅲ	3	実践企画演習Ⅲ			
	3・4	地方財政論Ⅰ				3・4	地方財政論Ⅰ		
	3・4	地方財政論Ⅱ				3・4	地方財政論Ⅱ		
	3・4	地方行政論Ⅰ				3・4	地方行政論Ⅰ		
	3・4	地方行政論Ⅱ				3・4	地方行政論Ⅱ		
	3・4	社会福祉論Ⅰ							
	3・4	社会福祉論Ⅱ							
	3・4	九州経済論Ⅰ							
	3・4	九州経済論Ⅱ							
		3・4	国際金融論Ⅰ	3・4	国際金融論Ⅰ	3・4	国際金融論Ⅰ	3・4	国際金融論Ⅰ
		3・4	国際金融論Ⅱ	3・4	国際金融論Ⅱ	3・4	国際金融論Ⅱ	3・4	国際金融論Ⅱ
		3・4	ヨーロッパ経済論Ⅰ						
		3・4	ヨーロッパ経済論Ⅱ						
		3・4	中国経済論Ⅰ						
		3・4	中国経済論Ⅱ						
		3・4	韓国経済論Ⅰ						
		3・4	韓国経済論Ⅱ						
		3・4	経済思想史Ⅰ			3・4	経済思想史Ⅰ		
		3・4	経済思想史Ⅱ			3・4	経済思想史Ⅱ		
						3・4	産業組織論Ⅰ		
						3・4	産業組織論Ⅱ		
				3・4	銀行論Ⅰ			3・4	銀行論Ⅰ
				3・4	銀行論Ⅱ			3・4	銀行論Ⅱ
	3・4	環境経済学Ⅰ						3・4	環境経済学Ⅰ
	3・4	環境経済学Ⅱ						3・4	環境経済学Ⅱ
	3・4	労働経済学Ⅰ						3・4	労働経済学Ⅰ
	3・4	労働経済学Ⅱ						3・4	労働経済学Ⅱ
				3・4	租税論Ⅰ	3・4	租税論Ⅰ		
				3・4	租税論Ⅱ	3・4	租税論Ⅱ		
	3・4	経済変動論Ⅰ						3・4	経済変動論Ⅰ
	3・4	経済変動論Ⅱ						3・4	経済変動論Ⅱ
	3・4	農業経済論Ⅰ	3・4	農業経済論Ⅰ					
	3・4	農業経済論Ⅱ	3・4	農業経済論Ⅱ					
						3・4	公共経済学Ⅰ		
						3・4	公共経済学Ⅱ		
						3・4	計量経済学Ⅰ		
						3・4	計量経済学Ⅱ		
				3・4	会計学原理Ⅰ			3・4	会計学原理Ⅰ
				3・4	会計学原理Ⅱ			3・4	会計学原理Ⅱ
				3・4	原価計算論Ⅰ			3・4	原価計算論Ⅰ
				3・4	原価計算論Ⅱ			3・4	原価計算論Ⅱ
				3・4	経営管理論Ⅰ	3・4	経営管理論Ⅰ	3・4	経営管理論Ⅰ
				3・4	経営管理論Ⅱ	3・4	経営管理論Ⅱ	3・4	経営管理論Ⅱ
				3・4	経済法Ⅰ			3・4	経済法Ⅰ
				3・4	経済法Ⅱ			3・4	経済法Ⅱ
	3・4	労働法Ⅰ				3・4	労働法Ⅰ		
	3・4	労働法Ⅱ				3・4	労働法Ⅱ		
		3・4	国際法Ⅰ					3・4	国際法Ⅰ
		3・4	国際法Ⅱ					3・4	国際法Ⅱ
						3・4	刑法		
								3・4	情報処理演習(ビジネス実務)
				3・4	ビジネス演習Ⅰ (ファイナンシャルプランナー取得)				
				3・4	ビジネス演習Ⅱ(証券外務員取得)				
		3・4	ビジネス英語Ⅲ						
		3・4	ビジネス英語Ⅳ						
								3・4	日本史
								3・4	外国史
								3・4	職業指導
								3・4	倫理学概論
	4	実践企画演習Ⅳ	4	実践企画演習Ⅳ	4	実践企画演習Ⅳ			

54
単
位

経済学部経済学科		第1年次 授業科目(4単位)	第2年次 授業科目(4単位)	第3年次 授業科目(4単位)	第4年次 授業科目(4単位)
専 門 科 目	経 済 学	△ミクロ経済学入門 (2)	△経済政策Ⅰ (2)		
		△マクロ経済学入門 (2)	△経済政策Ⅱ (2)		
		△現代の経済学入門 (2)	△金融論Ⅰ (2)		
		△経済史Ⅰ (2)	△金融論Ⅱ (2)		
		△経済史Ⅱ (2)	△財政学Ⅰ (2)		
		△社会思想Ⅰ (2)	△財政学Ⅱ (2)		
		△社会思想Ⅱ (2)	△社会政策Ⅰ (2)		
		△統計学Ⅰ (2)	△社会政策Ⅱ (2)		
		△統計学Ⅱ (2)	△経済学Ⅰ (2)		
		△経済数学入門Ⅰ (2)	△経済学Ⅱ (2)		
		△経済数学入門Ⅱ (2)	△国民所得論Ⅰ (2)		
		△経済数学入門Ⅲ (2)	△国民所得論Ⅱ (2)		
			日本経済史Ⅰ (2)	地方財政論Ⅰ (2)	地方財政論Ⅱ (2)
			日本経済史Ⅱ (2)	地方行政論Ⅰ (2)	地方行政論Ⅱ (2)
			地域経済論Ⅰ (2)	社会福祉論Ⅰ (2)	社会福祉論Ⅱ (2)
			地域経済論Ⅱ (2)	九州経済論Ⅰ (2)	九州経済論Ⅱ (2)
			経済地理Ⅰ (2)		
			経済地理Ⅱ (2)		
			地域開発論Ⅰ (2)		
			地域開発論Ⅱ (2)		
			中小企業論Ⅰ (2)		
			中小企業論Ⅱ (2)		
			社会保険論Ⅰ (2)		
			社会保険論Ⅱ (2)		
			国際経済学Ⅰ (2)	国際金融論Ⅰ (2)	国際金融論Ⅱ (2)
			国際経済学Ⅱ (2)	ヨーロッパ経済論Ⅰ (2)	ヨーロッパ経済論Ⅱ (2)
			西洋経済史Ⅰ (2)	中国経済論Ⅰ (2)	中国経済論Ⅱ (2)
			西洋経済史Ⅱ (2)	韓国経済論Ⅰ (2)	韓国経済論Ⅱ (2)
			開発経済学Ⅰ (2)		
			開発経済学Ⅱ (2)		
			貿易論Ⅰ (2)		
			貿易論Ⅱ (2)		
			アジア経済論Ⅰ (2)		
			アジア経済論Ⅱ (2)		
			アフリカ経済論Ⅰ (2)		
			アフリカ経済論Ⅱ (2)		
			産業概説Ⅰ (2)	経済思想史Ⅰ (2)	経済思想史Ⅱ (2)
			産業概説Ⅱ (2)	産業組織論Ⅰ (2)	産業組織論Ⅱ (2)
			日本経済論Ⅰ (2)	銀行論Ⅰ (2)	銀行論Ⅱ (2)
			日本経済論Ⅱ (2)	環境経済学Ⅰ (2)	環境経済学Ⅱ (2)
			ミクロ経済学 (2)	労働経済学Ⅰ (2)	労働経済学Ⅱ (2)
			マクロ経済学 (2)	租税論Ⅰ (2)	租税論Ⅱ (2)
			経済政策Ⅰ (2)	経済変動論Ⅰ (2)	経済変動論Ⅱ (2)
			経済政策Ⅱ (2)	農業経済論Ⅰ (2)	農業経済論Ⅱ (2)
			政治経済学Ⅰ (2)	公共経済学Ⅰ (2)	公共経済学Ⅱ (2)
			政治経済学Ⅱ (2)	計量経済学Ⅰ (2)	計量経済学Ⅱ (2)
			経済学Ⅰ (2)	情報経済学Ⅰ (2)	情報経済学Ⅱ (2)
			経済学Ⅱ (2)	数理経済学Ⅰ (2)	数理経済学Ⅱ (2)
				適応経済学 (2)	社会経済学 (2)
				現代資本主義論 (2)	
		初級簿記Ⅰ (2)	商業簿記Ⅰ (2)	会計学原理Ⅰ (2)	会計学原理Ⅱ (2)
		初級簿記Ⅱ (2)	商業簿記Ⅱ (2)	原価計算論Ⅰ (2)	原価計算論Ⅱ (2)
		経営学Ⅰ (2)	工業簿記Ⅰ (2)	経営管理論Ⅰ (2)	経営管理論Ⅱ (2)
		経営学Ⅱ (2)	工業簿記Ⅱ (2)		
			マーケティング論Ⅰ (2)		
			マーケティング論Ⅱ (2)		
		憲法Ⅰ (2)	商法Ⅰ (2)	経済法Ⅰ (2)	経済法Ⅱ (2)
		憲法Ⅱ (2)	商法Ⅱ (2)	労働法Ⅰ (2)	労働法Ⅱ (2)
		民法Ⅰ (2)	行政法Ⅰ (2)	国際法Ⅰ (2)	国際法Ⅱ (2)
		民法Ⅱ (2)	行政法Ⅱ (2)	刑法 (2)	
			政治学 (2)		
			行政学 (2)		
		情報処理入門 (2)	情報処理論Ⅰ (2)	情報メディア論Ⅰ (2)	情報メディア論Ⅱ (2)
		情報処理演習(文書作成) (2)	情報処理論Ⅱ (2)	情報地理演習 (2)	
		情報処理演習(表計算) (2)	情報処理演習(プレゼンテーション) (2)	情報地理演習 (ビジネス実務) (2)	
			情報処理演習(ホームページ作成) (2)		
		実践企画演習Ⅰ (4)	実践企画演習Ⅱ (4)	実践企画演習Ⅲ (4)	実践企画演習Ⅳ (4)
		海外研修(事前学習) (2)	海外研修(現地学習Ⅰ) (2)	海外研修(現地学習Ⅱ) (2)	海外研修(事後学習) (2)
		海外留学Ⅰ (2)	海外留学Ⅱ (2)	経済実態調査Ⅰ (2)	経済実態調査Ⅱ (2)
		インターンシップ (2)			
		キャリア基礎学Ⅰ (2)	SP基礎 (2)	ビジネス演習Ⅰ(ファイナンシャル プランナー取得) (2)	ビジネス演習Ⅱ(証券外務員 取得) (2)
		キャリア基礎学Ⅱ (2)	SP演習 (2)	ビジネス英語Ⅲ (2)	ビジネス英語Ⅳ (2)
		キャリア特講Ⅰ (2)	キャリア演習(教職) (2)	日本史 (2)	外国史 (2)
		キャリア特講Ⅱ (2)	キャリア演習(金融機関) (2)	職業指導 (2)	倫理学概論 (2)
		キャリア特講Ⅲ (2)	キャリア演習(公務員) (2)		
		自然地理学 (4)	ビジネス英語Ⅰ (2)		
		人文地理学 (4)	ビジネス英語Ⅱ (2)		
			地誌学 (4)		
			法学概論 (4)		
			哲学 (4)		
			心理学 (2)		
		外書講読Ⅰ (2)	外書講読Ⅱ (2)	外書講読Ⅲ (2)	外書講読Ⅳ (2)
		特殊講義Ⅰ (2)	特殊講義Ⅱ (2)	特殊講義Ⅴ (2)	特殊講義Ⅵ (2)
		特殊講義Ⅴ (2)	特殊講義Ⅵ (2)	特殊講義Ⅶ (2)	特殊講義Ⅷ (2)
		特殊講義Ⅶ (2)	特殊講義Ⅷ (2)	特殊講義Ⅷ (2)	特殊講義Ⅷ (2)
		基礎ゼミナールⅠ (2)	プレゼミナール (2)	ゼミナールⅠ (4)	ゼミナールⅡ (4)
		基礎ゼミナールⅡ (2)			卒業論文ゼミナール (8)

左表の授業科目配当表(専門科目)と、上表のトラック推奨科目一覧表を見比べて、卒業要件を確認してください

【卒業要件】

卒業までに定められた科目区分の単位数を修得する必要があります。
4年間で最低124単位以上修得しなければなりません。
1年間に履修できる単位の上限は、48単位です。

平成27年度入学生(15EE)卒業要件 経済学部 経済学科 (昼間主 夜間主)		
授業科目区分	授 業 科 目 及 び 単 位 数	
専 門 科 目	選択必修科目	26単位
	選択科目	54単位
基礎教育科目		12単位
外国語科目	二言語12単位(英語8単位以上)	
合 計	124単位	

※ 専門科目は、①の選択必修科目と、②の選択科目を合わせて最低80単位以上の修得が必要です。

①選択必修科目26単位 + ②選択科目54単位 + 基礎教育科目12単位 + 外国語科目12単位(二言語(英語8単位以上)) + さらに専門科目、基礎教育科目及び外国語科目から20単位 = 124単位

例：『①選択必修科目を30単位修得した場合』

①修得単位30 - 卒業要件26単位 = 4単位

上記の4単位は専門科目の②選択科目の卒業要件単位として算入される。

例：『①選択必修科目を30単位、②選択科目を60単位修得した場合』

①修得単位30単位 - 卒業要件26単位 = 4単位

②修得単位60単位 - 卒業要件54単位 = 6単位

上記の4単位と6単位は「さらに専門科目、基礎教育科目及び外国語科目から20単位」の必要単位として算入される。

☆ このトラック制は、自分の将来の目標に向かって体系的かつ効率的に学習するプログラムです。今後、自分が進むべき目標をよく考えてください。そして自分の目標に合ったトラックを選択してください。

☆ 各トラックには、目標を視野に入れた推奨科目を配置しています。推奨科目を中心に履修することで、自分の目標達成に近づくと考えますので、よく考えて履修してください。